

令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立 千鳥 小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・活動の時間を多く設けることで、児童の技術向上につながり、運動の楽しさを味わうことができた。
- ・学習のめあてを明確にすることで、めあて達成のために、児童同士が協力して学習を行うことができた。
- ・技術向上のためのポイントをカードや掲示物で提示することで、動きや技の上達につながることができた。
- ・児童が自ら課題を見出し、解決するための手立てを行うことで、技能の向上や主体的に取り組む態度を養うことができた。

(2) 課題

- ・動きのポイントを提示してはいるが、技術の個人差が大きくなってしまいう領域もあるため、場の設定を工夫するなどして、技術向上につながる工夫をする必要がある。
- ・できる喜びをたくさん味あわせることで、楽しんで運動に取り組み、運動の日常化を図りたい。
- ・正しい動きのポイントを児童一人一人が理解することができるように、お互いの動きを見とることができるような場やICTの活用の設定をする。
- ・児童同士が見合う視点や意図を明確にし、充実した活動としていけるような手立てを考える必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	大田区学習効果測定の教科外のためなし		
第5学年			
第6学年			

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し同じ運動に取り組ませることで、技能を習得できるようにしている。高度な技は苦手意識をもつので、段階的に取り組むようにしている。 ・導入で簡単な運動をさせたり易しいルールで試合を試合をしてみたりすることで、運動の行い方を正しく理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップを取れる児童がどのような作戦を取れば勝つことができるのかをメンバーに伝える姿が見られるが、個人で学習のめあてを立てたり運動内容を考えたりできる児童はまだ少ない。 ・自分の運動を振り返る経験が乏しく、学習カードへの 	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで体を動かす習慣が身に付いているが、運動経験の個人差が顕著である。できないことや初めての運動に直面すると、怖がりたり諦めたりしてしまう傾向が強い。

させている。	記述は、抽象的な内容だったり情意的なものだったりすることが多い。	
--------	----------------------------------	--

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 学習カードやデジタル教材の活用によって、なりたい自分をイメージし、そのために必要な技能を理解できるようにしている。 動画資料を視聴して、よい動きのイメージがもてるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習成果や次の運動課題に気づき、学習カードにそれを具体的に記述できるようになり始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者と意欲的に交流し、お互いに技能向上を目指す態度が養われてきている。 めあてを達成するために必要な場を選んで取り組むことができている。 全員で声を掛け合うことで、楽しみながら活動しようとしている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 運動経験の個人差が大きいので、多様な動きをする運動遊びを通して、簡単な動きからできる喜びを味わわせ、自信をもたせながら技能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の意図的な声かけを通じて、友達のよい動きを見付けさせて、動きの幅を広げる。 友達と運動を見合って、相手のよい動きや工夫を見付けさせ、相互評価の場をつくるとともに、友達の動きを真似したり手本にしたりして、よい動きについて自分たちで判断する力を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの運動に楽しく取り組もうとする態度が見られる。引き続き、様々な運動経験を積ませていきたい。 運動を苦手とする児童も楽しく運動できるように、学習過程を工夫することで、できたという達成感を味わわせ、意欲の向上を図る。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 運動の行い方を正しく理解し、楽しさを十分に味わえるように、簡単なルールで運動できる学習計画を立てる。 学習資料やICT機器、スマートフォンステップの場を効果的に活用することで、運動技能を確実に身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードを有効的に活用し、学習の振り返りをさせながら、伸びを実感できるようにする。 自分がイメージする段階を、無理なく設定させ、それに向けて運動に取り組むようにさせる。 互いの動きを確認したり、運動中の様子を振り返りできるように、タブレット 	<ul style="list-style-type: none"> 運動に主体的に取り組むことができるように、友達と一緒に運動したり、学習の見通しをもったりできる学習計画を立てる。 学習を通して目指したい姿を児童自ら考えることで、主体的に取り組む意欲を高める。

	<p>トを効果的に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の運動課題を解決するために、練習の場を選ばせたり工夫して練習に取り組んだりできるよう指導計画を立てる。 	
--	--	--

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 自分を俯瞰して、何が必要なのかを見極めることができるように、学びのロードマップを活用していく。 児童の実態に応じて教師の意図的な声かけを工夫したり、場の設定を実態に応じて行ったりすることで、技能の定着を確実に図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の振り返りを効果的に行うことができるように、技のコツや、上達のためのポイントを児童がすぐに見られるように、掲示物などの環境を整える。 ICT 機器を効果的に活用することで、自分の動きを視覚的に捉えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話的な学習を目的として、声かけカードを作るなどして、児童相互の話し合いを活性化していく。 運動にすすんで取り組み、楽しむことができるように、安全面に配慮しながら、運動する時間を多く確保する。 自分の今できることに応じた場を自ら選んだり、学習の方法を選択したりできるように学習形態を工夫する。